

下記の表は、LifeKeeper for Linux v9環境をご利用いただくことができる、認定済みの共有ストレージの一覧表です。ハードウェアの構成検討にご利用ください。

【認定済み共有ストレージについて】
LifeKeeperの共有ストレージとして利用するストレージは、種類によって認定が必要なものや不要なものがあります。

またQuorum/Witness Server Kitを利用してSCSI-2/3 によるReservationを行わないことが利用前提となっているストレージについても、同じく認定が必要です。表でのご確認をお願いします。

【認定が不要な構成】
以下の構成においては、ストレージ認定が不要です。

- ・ NASストレージ (NAS RecoveryKitが必要)
・ DataKeeperによるDataReplication構成するディスク複製全般(内蔵、外付けを問いません)

【ご利用いただけないハードウェア】
・ USBやIEEE1394などで接続する、コンシューマー向けストレージの利用はサポートされません。

Table with columns: ベンダー名 (ベンダー), ストレージモデル名, ハドウェア構成 (構成), サポート可否 (可否), 必要なARK(*) (必要なARK), サポートする LKのバージョン (*), 注意事項. Contains storage configuration details for Dell, Fujitsu, Hitachi, HPE, and IBM.

【(*)、EMCストレージの参照について】
LifeKeeperはEMC Labの認定を参照しております。EMCのストレージのサポート状況については下記のリンクをご確認ください。

http://www.emc.com/introoperability

【(*)、マルチOS/ソフトウェアに関して】
このドキュメントは、LifeKeeper for Linux v9を対象としています。このバージョンのサポートマトリクスにつきましては、各バージョンのリリースノートをご確認ください。

http://k.sios.com/?p=1205

Table with 2 columns: 構成, 説明. Lists storage configurations like vSphere (RDM), Multi Path (DMMP), etc.

【(*)、VMware vSphereでの共有ディスクの構成について】
以下の構成は、VMware vSphere上で共有ディスクを利活用する際の構成ガイドをご確認ください。

表のSCSI接続に関する記述は物理環境とvSphere環境で共通です。その為、ハドウェア「SCSI」の接続構成の項目にLifeKeeperの構成は行っていません。